

令和元年度事業報告

基本理念「共につながり支え合い安心して暮らせるまち」

◆事業活動の内容

基本方針①地域で安心して安全に暮らせる環境づくり

- 実施計画 1 人にやさしいまちづくりの推進
- 2 権利擁護の推進
 - 3 地域ぐるみの防災・防犯活動の推進
 - 4 障害者の自立促進と社会参加の促進
 - 5 社協の運営・組織の体制整備

社協だより、ウェブサイトを有効活用し情報を発信する

広報誌「たいわ社協だより」を年に4回発行。町内の関係福祉団体、施設の情報を広く発信しました。

発行月	4月・8月・11月・2月
発行部数	4月8月11,200部・11月2月11,300部 【11月（第118号）は豪雨水害報告のためP12で発行】
送付先	毎戸（区長配達依頼）、特別会員、町内関係福祉施設 県内市町村社協
編集委員会	6月13日・9月13日・12月13日

発行事業費 1,025 千円

日常生活自立支援事業（まもり一ぶ）の実施

認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等を対象に日常的な金銭管理、福祉サービス利用の助言などを実施しました。

年度末利用者数	認知症高齢者3名 知的障害者2名	前年度比（±0名）
相談受付件数	認知症高齢者2名	前年度比（±0名）
生活支援員数	2名	前年度比（±0名）
生活支援員との同行	68回	前年度比（+3回）
保管内容	通帳8冊 印鑑4本	前年度比（±0）

事業費：県社協委託料 50 千円

災害 VC 研修会・災害 V コーディネーター養成講座の開催

平成 27 年関東・東北豪雨水害において大和町災害ボランティアセンターが行った活動を振り返りを行ってきました。災害ボランティアセンターの運営に必要な基礎知識や理解を深めること、地域住民や企業との連携・協働をテーマに講座を開催しました。

日 時	令和元年 7 月 27 日 (土) 10 : 00 ~ 15 : 30
会 場	ひだまりの丘研修室
参加者	13 名 (トヨタ自動車東日本株)
講 師	ウェザーハート災害福祉事務所代表 千川原 公彦 氏
内 容	講義・図上訓練：災害ボランティアセンターの運営

事業費：県社協補助金 80 千円

日 時	令和元年 10 月 19 日 (土) 10 : 00 ~ 15 : 30
会 場	ひだまりの丘研修室
参加者	【台風 19 号豪雨水害対応のため 中止】
講 師	ウェザーハート災害福祉事務所代表 千川原 公彦 氏
内 容	講義・図上訓練：災害ボランティアセンターの運営

【県社協：共催】

その他 2015 年関東東北豪雨水害の対応について

日 時	令和元年 6 月 8 日 (土) 10 : 00 ~ 11 : 30
会 場	美里町北浦地区中の組行政区 集落センター
参加者	中の組行政区 見守り協力者 計 24 名
内 容	H27 年 9 月豪雨水害の対応について (報告)

日 時	令和元年 7 月 5 日 (金) 13 : 30 ~ 13 : 50
会 場	美里町北浦地区コミュニティセンター多目的ホール
参加者	北浦地区自主防災連合組合 計 20 名
内 容	H27 年 9 月豪雨水害の対応について (報告)

その他 台風 19 号豪雨水害の対応について

日 時	令和元年 12 月 17 日 (火) 11 : 00 ~ 12 : 00
会 場	大和町役場 1 階会議室
参加者	大和町婦人防火クラブ役員 18 名
内 容	社協とボランティアセンター (災害 VC) について (説明・報告)

地域活動支援センターの運営

軽作業を中心とした障害者の自立促進と社会参加の機会の提供を図り、週4日開所。

年度末登録者数	19名(精神17名/知的1名/その他1名)	前年度比(+2名)
指導員数	4名(うち看護職員1名)	前年度比(±0名)
延べ開所日数	188日	前年度比(-3日)
延べ通所人数	1,487名	前年度比(+27名)
主な活動内容	箸入れ作業、生活訓練、調理実習、作品づくり、季節の行事	

事業費：町委託料 7,290 千円

工房ななつもり支援事業「カフェななつもり」の実施

地域活動支援センター利用者の支援、登録外者との交流・見学の機会として実施しました。

実施回数	20回(第1第3水曜日午前)	前年度比(-3回)
延べ参加人数	工房ななつもり登録者60名 登録外者17名	前年度比(-3名) 前年度比(-6名)
主な活動	作品づくり/書道(ボランティア)/茶道(ボランティア)	

事業費：一般財源 22 千円

障害者相談支援事業の実施

利用者の意思を尊重し、自立した日常生活を営むことができるよう計画相談支援の提供に努めた。あわせて計画相談支援に至る前の基本相談支援の提供もあわせて行いました。

【計画相談支援実績】

計画相談支援	24件	障害児相談支援	4件
計画相談支援継続	35件	障害児相談支援継続	5件

サービス利用計画費収入：825 千円

【基本相談支援実績】

新規件数：障害者	7件	障害児	3件	知的	4/精神	2/発達	2/他	2
延べ件数：障害者	50件	障害児	10件	知的	12/精神	44/発達	2/他	2
対応形態	訪問 40/来所 164/同行 12/電話 123 /電子メール 43 関係機関 118/ その他 16 合計 500件(昨年比+46件)							

相談内容（重複あり）	福祉サービスの利用 93／障害や病状の理解／11 健康・医療 42／不安の解消・情緒安定 178 家族、人間関係 119／家計、経済 94／生活技術 30 就労 23／社会参加、余暇活動 10／権利擁護 1／その他 98 合計 699 件
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費町委託料：145 千円

地域福祉活動計画の推進

地域福祉活動計画の推進を目的に住民研修会と推進協議会を開催しました。

推進協議会の開催	令和 2 年 3 月 17 日（火）役場 3 階会議室
協議会委員構成	区長会／民生委員児童委員／シルバー人材センター ボランティア友の会／保健推進委員／老人クラブ 身障協会／子育てサロン、協議会／職業安定所 社会福祉法人／宮城県／宮城県社協／宮城大学
地域福祉おこし事業 研修会	令和 2 年 1 月 31 日（金） 対象：一般住民・策定委員 講演「地域共生社会の実現に向けて～地域の課題とは 講師：東北文化学園大学医療福祉学部長 豊田正利 氏

基本方針②つながりの意識づくりと参加のきっかけづくり

実施計画 1 福祉の心の育成

2 地域交流の場の拡充

3 地域を支える担い手の育成支援

福祉教育事業の実施（体験講座等）

小学生を対象に、キャップハンディ体験を行い障害への理解を深めました。

実施月日	令和元年 7 月 4 日（木）
会場／参加者	宮床小学校 3～4 年生 16 名（講師：宮城県七ツ森希望の家）

夏休み小学生福祉体験として、防災クッキング体験を行いました。

実施月日	令和元年 8 月 6 日（火）
会場／参加者	講師：くらしの学び拠点オフィス HumanBeing 代表 菅原清香 氏 ひだまりの丘 小学生 16 名

子育てサロン「きらきら」・おもちゃ病院「ひまわり」等の支援

平成 19 年度～21 年度に子育てサポーター養成講座を、平成 21 年度と 24 年度におもちゃドクター養成講座を開催し、それぞれの修了者で作る自主グループの活動を支援しました。

歳末たすけあい運動 募金配分の実施	配分委員会で活動助成金の配分を決定 子育てサロンきらきら 50,000 円 おもちゃ病院ひまわり 50,000 円
----------------------	-----------------------------------------------------------------

平成 24 年度から 27 年度まで開催した手話初級講座修了者でつくるサークル活動の「もたろう」フォローアップを行いました。

事業の開催数	年 22 回（毎月第 2・4 月曜日）
内容	町内在住の聴覚障害者、手話通訳者、健聴者等が会員となり初心者向けのテキスト DVD を使用しお茶を飲み交流しながら、一歩ずつ手話を学んでいます。

まほろば夏まつり等地域行事への参加・協力

まほろば夏まつりのチャリティかき氷を実施しました。売上金は災害義援金として送金しました。

実施月日	令和元年 8 月 4 日（日）
内容	チャリティ綿あめ／ポップコーン 100 円/1 つ 民生委員児童委員が中心に合計 385 個を売上 令和元年 6 月日本海山形県沖地震の見舞金として山形県鶴岡市へ送金 【見舞金】チャリティより 38,500 円 赤い羽根募金 1,833 円

となりぐみ活き生きサロンの支援

となりぐみ活き生きサロンの活動を支援するためボランティア保険の加入手続き、ゲーム等の貸出などを行いました。

実施月日	令和 2 年 11 月 28 日（木）
会場／内容／参加者	ひだまりの丘／講師：日本レクリエーション協会 ／講話・体験：「心の元気づくり」 参加者 63 名

福祉団体の活動支援（事務局）、施設との協働事業の開催

団体事務局 団体の運営 事業の開催 会計処理	大和町民生委員児童委員協議会 大和町老人クラブ連合会 大和町ボランティア友の会 大和町遺族会（大和町遺族会吉岡支部含む） 大和町身体障害者福祉協会
施設との協働事業の開催	介護職就労支援講習会の開催 令和2年2月1日（土）2日（日） 会場：まほろばの里たいわ 受講者1名

基本方針③互いに支えあうつながりづくり

実施計画 1 地域福祉のネットワークの構築

2 地域での支えあい活動の推進

3 ボランティア活動の推進

4 生きがいつくりと心身の健康づくりの推進

ひとり暮らし高齢者お茶飲み会「ひなたぼっこ会」の支援

ひだまりの丘を会場に月 1 回一人暮らし高齢者等を対象にしたお茶飲み会を実施しました。実施にあたっては吉岡地区ボランティア友の会の協力をいただき、お話や歌を中心に行いました。

参加者	対象者 16 名 吉岡地区ボランティア友の会 13 名
-----	-----------------------------

震災避難者交流会「ひまわりサロン」の支援

東日本大震災の避難者交流会の支援を平成 23 年度より実施。情報交換や転入者の相談支援等を行いました。

参加者	対象者 12 名／協力ボランティア 8 名
-----	-----------------------

配食サービスの実施

ひとり暮らし高齢者等を対象にした配食サービスを週 3 回実施。安否確認を兼ねて昼食弁当をお届けしました。

年間(延べ)件数	実施回数 : 141 回 利用者人数 : 59 名 配食数 : 4,367 食	前年度比 : +9 回 前年度比 : ±0 名 前年度比 : +677 食
献立会議の開催	令和元年 9 月 18 日 (元年度下半期分) 令和 2 年 3 月 4 日 (2 年度上半期分) 施設閉館の為中止	
従事ボランティア交流 研修会	令和 2 年 1 月 28 日 内容 ①ちゃんと知りたい食品添加物の話 宮城県保健環境センター ②情報交換 参加者 37 名	

事業費 : 町委託料 2,838 千円

ひとり暮らし高齢者への災害時非常持出し袋の配布

災害時の避難用持ち出し袋をひとり暮らし高齢者へ配布。対象者の調査は民生委員児童委員が行い、緊急連絡先を記入する連絡カードとあわせて平時からの備えに活用してもらいました。

令和元年度配布数	50 セット
----------	--------

事業費 : 歳末配分 99 千円

軽度生活援助事業の実施

高齢者生活支援生きがい健康づくり事業 (町委託事業) で掃除等の家事援助を実施。登録ヘルパーを派遣しました。

利用登録者数 : 5 名	前年度比 ±0 名
利用者数 : 5 名	前年度比 ±0 名
実施延べ日数・時間 : 18 日・30 時間	前年度比 +11 日・+16 時間
登録ヘルパー数 : 2 名	前年度比 ±0 名
清掃 (室内、台所流し台、トイレ) 窓拭き (内、外、戸棚ガラス、物置小屋) その他 (階段、畳、押し入れ、サッシの雑巾がけ)	

事業費 : 町委託料 35 千円

赤い羽根共同募金（歳末たすけあい運動）の実施

10月～12月にかけて共同募金運動を実施しました。令和元年度は町内会配分事業としてテント4基（29年度～累計16基）を配分しました。

赤い羽根共同募金実績	2,329,635円（戸別募金）前年度比：+95,350円
歳末たすけあい運動実績	2,271,315円（戸別募金）前年度比：-84,986円 223,762円（個人・団体）前年度比：-215円 計2,495,077円 前年度比：-85,201円
テント配分【町内会配分】 申請23行政区（配分4年目）	8/22配布式を行い次の行政区へ配分 ⑬吉岡南二丁目 ⑭新小路 ⑮杜の丘三丁目 ⑯三ヶ内
「住民力・地域力・福祉力を高める支援事業」実施行政区	R1～城内東・もみじヶ丘三丁目・下草 （レクリエーション、体操、お茶のみ等）

基本方針④多様な福祉サービスの仕組みづくり

実施計画1 地域ケアシステムの確立とサービスの質の向上
2 適切な情報提供・相談事業

生活相談所の開設

困りごと・生活相談所を町の人権相談／行政相談に併設して開設しました。

開設日数等	11日（毎月第二木曜日）10：00～15：00 役場101会議室
相談者数・件数	19件 前年度比：+5件 主な内容：財産、法律・人権、その他
相談員	6名（司法書士1名・元行政書士1名・民生委員児童委員3名・保健師1名）

生活安定資金・福祉資金の貸付

一時的な小口資金として生活安定資金の貸付を行いました。県社協の生活福祉資金の申請から償還事務の一部を委託事業として実施しました。

生活安定資金の貸付	貸付24件603,000円 前年度比：-3件 -163,000円 償還88件580,000円 前年度比：+20件 -74,000円
生活福祉資金の貸付	0件 前年度比：-1件

緊急用食料等支援事業の実施

貸付資金と組み合わせて緊急時の生活支援を実施しました。米、レトルト食品から利用者の生活状況に応じて弁当やパンを数日に分けて提供しました。(民生委員児童委員・福祉課・包括支援センター・南部自立支援センターと連携)

利用者・支援回数	5人10回	前年度比：-1人-1回
----------	-------	-------------

事業費：36千円+歳末配分：173千円

生活支援体制整備事業の実施

生活支援コーディネーターを配置し、地域資源の把握や発掘に努めました。

地域訪問	122回	生き生きサロン 30回
会議等	27回	関係福祉団体（老連、民生委員、V友の会など）の行事参加。郡内社協生活支援C o会議への参加。
研修等	17回	生活支援C o養成研修、郡内社協研修への参加。
その他	95回	相談・打合せ、資料作成・法人業務。
地域資源の発掘	127回	地域の活動、行事に出向き、地域・文化に触れた。
ネットワーク構築	119回	関係団体との連携を深めネットワークの構築に努めた。
見える化、地域課題の提起	15回	包括支援センターとの出前講座を実施し、地域の見える化を行った。
多様な主体への協力依頼	120回	地域活動の紹介や、研修会への協力を依頼した。
サービスへのつなぎ	8回	サロンの情報提供や地域の方を民生委員児童委員へ繋いだ。
担い手の養成	114回	地域の役員会や高齢者支え合い研修会を通し、担い手の養成を行った。
地域の支え合いづくりの推進	129回	他地区の活動紹介など、情報提供や活動へのアドバイスを行った。
協議体への準備協力	3回	高齢者支え合い研修会などを通して、必要に応じて協議体に参加し情報の共有を図った。

【今とこれからの暮らしの研修会】

8月21日(水)	「公助編：高齢化の現状と介護保険制度について」 大和町福祉課 菅野 論志 氏	まほろばホール会議室 13名
10月16日(水)	「互助編：これからの介護予防と地域づくり」 宮城大学教授 大塚 眞理子 氏	まほろばホール会議室 台風19号により延期

11月20日(水)	「自助編：生き方と逝き方」 公立黒川病院 管理者 本郷 道夫 氏	まほろばホール会議室 22名
12月18日(水)	「互助編：これからの介護予防と地域づくり」 宮城大学教授 大塚 眞理子 氏	まほろばホール会議室 20名
2月17日(月)	「大和町の未来と創造～お互い様を目指して」 宮城県社協 震災復興・地域福祉部 主事 佐藤 正 氏	町民研修センター 60名

【男活】

8月30日(金)	「お酒に合う一品料理作り」	まほろばホール調理室 10名
11月16日(土)	「パソコン教室～エクセルから学ぶ簡単な数式」	南部コミセン 7名
2月28日(金)	「コーヒーの淹れ方 PART2」	ひだまりの丘 コロナウイルスにより中止

その他

監査

内部監査	5月21日(火)
------	----------

大和町保健福祉総合センター管理業務

センターの監視監督	221日	浴室管理の監督	1件
使用申請の受付	173件	蛍光灯等消耗品の交換	1件
苦情・トラブルの対応	3件		
点検等の立会い・鍵の受渡	4件	その他	5件

事業費町委託料：240千円

日赤奉仕団 清掃奉仕作業研修会

6/13(木) 救急法短期講習：蘇生術講習とAED利用研修講習

講師：日本赤十字社宮城県支部 佐藤麻子氏、相原明博氏

参加：除草 70名(吉岡 26 宮床 4 吉田 8 鶴巣 17 落合 12 事務局 3)

講習 57名(吉岡 23 宮床 5 吉田 8 鶴巣 10 落合 10 事務局 1)